

感想

今日は沢山のことを私達に教えていただき、
本当にありがとうございました。

情報を聞いたり、書いたりする上での、相手のリズムに
合わせる^人ことや、インタビューを楽しむことを意識して、楽しく
正しい情報を伝えれるように頑張ります。本村先生に趣味を
お聞きになっていた時に、素速くメモをして、相手を待たせない
ようにしていて、すごいなと思いました。また、新聞を書く
時には読む側のことも考えたり、速報に対応できるようにして
いることが分かりました。

16日のフィールドワークでは、今日学んだことを活かして、
沢山の情報を上手に聞き出せるよう頑張ります。

今回講習では、新聞社の仕事、新聞の書き方、インタビュー
とありましたが、自分は書き方の面ではひかれました。ところがあり
ました。例えば、見出しを作る際、10文字程で、あやゆる表現
も考えるなど、言葉によって全く印象が変わってくるのを、
一言で、分かりやすく、情景を表す能力が素晴らしいと思えました。
その能力のためにも、いろんな言葉を覚えるなど、必要である
と感じました。もう一つ、三姉先生を見てると、インタビューでも
質問でも、楽しそうに話しているのを感じました。簡単に
言うとなれなれしく、親しく接して、そういう所で、相手の心も
ゆるくなると、よく実感しました。お互いがかたくなっても、
いい記事は作れなそうです。技術の高さ、経験の深さが感
じられます。上手いところに入り、多く良き記事を書いてみたい
です。楽しい時間を過ごしました。

2-4-4

今日は三好先生から新聞の読みかき方、写真のとりかき方、インタビューの仕方など、様々なことを教えてもらいました。

とてもユニークな話を長時間聞いていても飽きなく聞いていてとても楽しい時間でした。数人に分かれて話したリポートも、再読してしたり、実際に体験してわかったことや思いついたことまで（三人ありました。特に印象に残ったことは、記者になった経験、新聞が出来るまでの作業などの映像です。新聞一つ作るのに、こんなにも苦労があるのかと改めて感じました。

また、実際のインタビューの音声を聞いて三好さんはこのように取材をするのかととても勉強になりました。5W1Hや逆三角や体言止めをあまり使用しないなどの文章の構成まで細かく説明して聞いて学ぶにとりたくさんありました。

今日は質疑応答が聞けてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

三女子さんに新聞の書き方や写真のとり方をかしてもらいました。それに神戸新聞の会社では、いろんな作業をして新聞が作られていることもわかりました。これからの新聞作りや、写真をとる時、インタビューのやり方などを、今日、かしてもらったことを、さうこうにやっていきたいと思います。

新聞記者の仕事の内容や新聞がどのように作られているかやインタビューのコツを学ぶことができました。

新聞記者は、いろいろな取材ができ、たくさんの新しい発見ができて大変なこともあるけど楽しそうだなと思いました。

新聞は、取材する人、編集する人などたくさんの方が関わって毎日多くの人に読まれていると分かりました。阪神淡路大震災の時も休まず新聞を作り続けたのはとてもすごいなと思いました。

インタビューは、相手に合わせて具体的に質問することが大切だと分かりました。下調べは完璧にしなくてもよいというのが意外でした。

実際にインタビューしてみると、大事なところをメモしながら聞くのが難しかったです。フィールドワークでインタビューをするときは今日学んだことを思い出しながらやりたいです。

家では新聞をとっているけど、読む機会はほとんどないので、今日の学習を通して新聞に興味をもち、今までは違った視点で読んでみたいと思いました。

2-4-1

新聞を作ったり、インタビューをする上で大切なことをたくさん学びました。三好さんの説明は分かりやすく、親しみやすくおもしろいものでした。特に印象に残っているのはインタビューについてです。実際に3人グループでやりましたが、聞く人からすると、話をどう続けようとするかは良いか分からない時もあるし、それを新聞記事に使うとなると、どの内容を必ず相手に聞くかを決めるのは本当に大事だと思いました。でも相手との話し合いで、その人の事を理解できたり、何か気づかされたことを伝えるのもやりがいがあるし、おもしろく感じました。また、いかに読み手に分かりやすく、簡潔に伝えられるようにするのはさらに工夫がいると思いました。特に見出しは相手にパッと分かりやすく、イメージしやすいようにする必要があります。いろいろ今後のことに参考になる内容が多くて、楽しかったです。

今日のM先生の話を聞いて、思っていたより新聞記者はそれほど大変な仕事ではない
と思いました。印さつ直前でもビークラスの飛込レポートを入れるくらいだし、
イマゼーションも少ないし、大変だとは思いません。つまり、イマゼーションをしたら、自分は
質内者側だということ、中々思っていたような会話のキャッチボールがとやまらなくなったと思
いました。

今日学んだことはインタビューの仕方、下調べはがっちり
にしない、最初は質問だけでなく、なごみような話
をする。この3点を特に意識してトライアルウ
ークでの活動もトライアルワークが終わった後
でもがんばりたいです。

新聞がなんであんな速に記事を仕上げ朝刊と夕刊を出せるのか不思議だったのですが、疑問が解決しました。

インタビューのやり方を教えて貰ったので、これを生かして聞き上手に

なろう、たくさん情報を16日のフィールドワークで引き出していきたいな、と思いました。

あまり知らない世界だったので、とても興味がありました。

今日学んだことは、インタビュー時に、注意すること、情報をより分かりやすく、より簡単に伝えるためにはどうすれば良いかなどを学びました。インタビュー時には、下調べが大事で、相手に合わせてどう話すかもインタビューする時に大切なこと知りました。よかからの国語の聞き取りテストの時にはインタビューをしている人の気持ちになって自分から分かるように、後で、すぐに文でかえることができるように、単語キーワード、記号などを使ってまとめようと思います。

トイボウウーカはアタゴに協成してその御行動などをしるしをけがら
けと後作に渡すことをするのには好きで付くといひて人びとを
とったりイナも一歩コソを教へてくれたことよりけとごり手した。
明石市議会の大内さしと言ふ人にもタビ一をじたり市議会の写真をとったり
のてそのとき今日教へてくれた事を全分してけがらばいいなと思ひ
た。

今日は新聞について様々なことを学びました。また、それだけでなく、インタビューの仕方や写真のとり方も学びました。

私がびっくりしたのが、新聞がつくられるまでの作業です。会社には300人も記者がいて、700人の人々が新聞づくりにたずさわっていることがわかりました。それらの人々がインタビューして、自分で原稿や構成を考えて、印刷し、読んでチェックし、そして私達が新聞を買うお店へ届くんだと知りました。私達のたすけか、新聞をつくってくれている人々に感謝して新聞を売りたいです。

今日三好先生の話を聞いて新聞記者のたき鉄口れました。

実際に三好先生が大学生にインタビューをしていて、僕もそんなにも幸運で
質問を教えるのたうと思ひました。新聞にはたまに工夫残りタイトルはどのよ
うにすれば興味をひくのかよく考へていふと思ひます。

僕もたうでインタビューをするので今日教へたポイントをいかにいふと思ひます。

・メモは短く、わかりやすく!

・写真の三角構成などを意識する!

・見出しはたいの内容を一文にまとめる!

・1ページは大抵は話題の離れをたし、ちょっとした会話を入れた
楽しいふしを作る!!

・聞きたこと、疑問に思ったことは必ず質問する!

・時間に応じて質問目的を決める!

今日聞いたこと、今度の「ワーク」は倍々、お効率が上がるよ、この橋のあたり、
思い出に残るから。

今日は忙しい中フィールドワークのアドバイスのために色々な言葉をしてくれ
りインタビュー以外にも、写真のとり方を教えてくれてありがとうございました。この
経験を生かしてフィールドワークをして、質問もうまく言ったり聞いてもらって、
フィールドワークでのことをおもしろい物にできるようにしたいです。時間がたつ
時のインタビューの仕方がインタビューにあまり答えにくくなかった時の仕
方で、色々やりかたを教えてください。本当にありがとうございました。また
来月に来てください。今日は教えてくれたこともしが
り聞いて日常ボトラーやワーク以外の行事などでもたくさんの場面
生かせるようにしたいです。

今日、神戸新聞社の方に、新聞の作り方や、
インタビューの仕方や、写真のとり方などについて、
たくさん教えてもらうことができました。

私たちも実際にトライやるで、インタビューしたり、
写真をとったりするので、その時に今日教えてもらった
たくさんのことを気をつけていこうと思いました。

知らなかった事も知れて、とても楽しく、

よい体験ができました。

写真とかをたくさん使っていて、分かりやすかった。

質問のしかたが分かった。

新聞ができるまでインタビューを記事にするときに、どんなかんじで
けがるのかを知ることができた。

見出しはどのようなものが良いのかを知ることができた。

「トライやる ウーク」 という事で色々な方にインタビューをしたり、伝えたりという事が沢山あって不安な気持ちが大きかったです。ですが今日お話を聞いて「楽しんでやろう!!」と思いました。私の家は新聞を取らないけれど、読みたいという気持ちはあります!! 『言葉』が好きで、詩集を読んだり、小説を読んだり…。有名人の会見や演説も好きです!! 三好さんのお話にもありましたが、人それぞれ価値感や考え方が違うので色々なモノにふれてみたい!! と思います。とても楽しい時間でした!!

インタビューは、バリバリの敬語でやるのかなと思っていったけど、三好さんの話を聞いてみると、相手が答えやすいように、勤しいことを聞きすぎずに、結構普通の質問をしていい人だなと分りました。

そしてあたり前のように新聞記事を書くことをしゃべっていたけど、私も学校で記事を書いた時とても難しかったので、内容をすらすら決めれることは、すごいなと思いました。

今日は、新聞の書き方とインタビューのしかたについて学んで、
新聞の見出しと初めの文だけで理解できるように書く。

インタビューはちゃんと行く前に下調べをして、何個か何を質問
めがを調べて来て、いいインタビューをする。メモはかき書きて
書くことが分かったのでちゃんとできるようにしていきたい。

三好さんの話を聞いて、新聞は人命と人権に関わることで

「それ」の得意分野で進んでいく仕事だ」ということが、命がけ
新聞記者は、

また、自分が書いた記事で社会が動いたり、有名人に会いに行ったり
する。この仕事は、本当に興味深いことばかりです。

新聞の採り方や写真のとり方も学ばなくてはなりません。

フィールドワークに行くときも、今日教わったインタビュー術で

相手の情報を引き出したいと思えます。

インタビューを相手の体験をして、言葉選びは難しいけれど

インタビューをするのは楽しいと思えます。

今日は、自分達のために、インタビューの仕方、取材
などをおしえていただきありがとうございました。

この体験を活かして、インタビューを招き時に、取材など
を工夫してインタビューしたいと思います。新聞の頭か型か
けなどを意識して新聞も書いていきたいです。WSカードなども
意識したいと思います。

三好さんのほかに2名おられ

甲
心
fy

僕の家では新聞はアプリで見ていて、紙のほうはあんまり見ていなかったけど、作る作業はたくさんあることを知りました。夜に急に記事が入ってきたときは、その記事を急ぎいれないと11けなりの11人11仕事だ"ということもわかりました。

今日の先生の話を聞いていろいろのことを学びました。
主に記事のことから始まりました。その他にも、すごく
努力をされていらっしゃると思います。毎朝しっかりと
量の新聞が読めるのかあたりまえ、みたいにならなくて
いい、そうではなく、作ってくれている方に感謝が
なければなりません。今日の仕事をしっかりと
トランプワークをしっかりと成功させています。

いつも当たり前のように見ている新聞には、読者が
見やすい書き方をしていたり、急なニュースにも対応でき
るようになっていたりしてすごいなと思いました。

私は普段あまり新聞を読むことはなかったけど、
これからは新聞を読んで、どんな工夫がされている
のが探してみたいと思いました。

今日は、新聞の書き方やインタビューの仕方、写真のとり方などたくさん
の事を学ぶことができました。なので、トライやるで新聞を作るときは、
特に見出しは、読む人が記事の内容が分かりやすい、興味をひく
見出しにしたいと思いました。インタビューは、下調べをすることや、ゼッ
タイ聞きたい質問は3つぐらいにするなど、トライやるでは今日聞いた
ことを活かして明確なことが分かり、興味をひく新聞をつくれる
ようにがんばりたいです。

今日の外資系新聞社のワークシートを聞いておかしなことは、インタビューを
するとき、答える人が複数人の場合は、まとめてインタビューをする
ことがわかる。

自己紹介のときは、「いつ」「どこで」「だれが」「どのくらい」などを書くことがわかる。

今日は、神戸新聞社の三好正文先生にきてもらって調べ方やインタビューの仕方など、これからのトライやるウィークでも使えそうな大切なことを、くわしく言ってくれたので、すごく勉強になりました。今日、三好さんに教えてもらった事を、次のトライやるウィークでいかせるようにしていきたいと思いました。

三好正文さんの話を聞いて、新聞について今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。特にインタビュー術にこだわりが詰まっています。すごいなと思いました。場合によって下調べをしっかりとするのか、少しするのかなども分けられていて、難しいなと思いました。直接人にインタビューするときに、三好さんは相手のリズムに合わせて、相づちもうつっていたので、プロの新聞記者のすごさが分かりました。新聞の書き方にもとてもこだわっていて、作るのに時間がかかりそうなのに、時間と間に合うように早く書いているのを聞いて、びっくりしました。

今日の三好先生の話を聞いて、新聞の読み方やインタビューの仕方など、色々なことを知ることができました。特に、インタビューの仕方では、ただ自分のききたい質問をきくだけでなく、相手のリズムに合わせてたり、先入観にとらわれないことが大事だと分かったので、インタビューの時に、活かしていきたいです。
また、話がおもしろく、最後まで楽しく聞くことができました。

今日は、インタビューのイキ方や新聞記事の見出しに何を書けばいいのかわかることができました。インタビューでは、3つくらいの質問をすることを決めていたり、相手の年齢や出身地などの情報も聞くといいところがわかりました。新聞記事は、逆三角形という構図で記事を書いたり、見出しを引きつけるようなものにしたりと内容をおおまかに分かるようなものにしたらよいとわかりました。他にも、写真を撮るときに三角形を意識して撮ったり2つなら対角線を意識して撮るといいこともわかりました。学んだことを使えるように新聞を書いていきます。

ぼくは三村先生の諺をまねて神戸新聞を作るのは、たった三時間
ぐらいで済んでいて朝と夜で新聞のネタをできるだけかき集めないように
かえて、おついでと思いました。

レジャーのしかたでは相手にあおりにいやらないといけないので、
相手の責めをこなさないようにしています。

新聞記者の届くまで色々な人が携って神戸新聞の職員700人中500人が記者という凄まじい数で流石大企業なと思いました。

新聞を書くのは最後の結果を待つというのではなく初めに結果を待つという縮小されても又又なように作るのですねと知りました。

今日学んだことや資料を活用して良い新聞が作れるようにしたいです。

新聞の1ページ目には、「アタマ・カタ・ヘリ」で一番大事なところに分かっていることを初めて知りました。また、新聞の中にコロナ関連の記事が2つあるなど、予想以上にたくさんあり、びっくりしました。三好先生とイニタビュ-をしている人の録音を聞いて、かたくるしくせが、親しみやすいイニタビュ-をしてくれているというところが、声のトーンや話し言葉で声だけでも分かりました。また、実際にはイニタビュ-をしてみても、77という意識があまりなく、話が冗長な感じが、たのび、もっと興味をもつてイニタビュ-ができれば、どうにしたいかなと思いました。

今日、たくさんのお話を聞いて、何度もなるほど、と思った
時もありましたが、一番私が思ったのはインタビューの仕方
です。実際に三好さんがインタビューをしているのを見て、文が終
った時にかぎらず、とじた時とかにも相づちをうって相手が話
しやすいように反応をされていました。これは日頃の授業でも
できると思うので、いかしていきたいと思います。火曜日には、フ
ィールドワークがあるので施設に行つた際にインタビューするとき
このことに意識して質問をします

今日は、新聞のよみ方や書き方だけでなく、情報や過去の体験談が盛り込まれて本当に嬉しいです。おかげさまで、毎日休まず、急いで情報があつた内容をすぐに市民・町民に伝えるために原稿、編集するのは大変だと思うけど、芸能人や有名人に取材してウソな人に出会えば、それだけでもいいです。新聞の特徴などをしっかりと覚えて、いい新聞にできるように今日の講座を参考にしてください。1月までお楽しみください。

神戸新聞社のおはなしをきいて、インタビューの仕方について、インタビューをくわしくゆうことがだいじだとゆっていました。写真の撮り方も、かどをかえて撮ることがだいじとゆっていました。

今日は、自分たちのフィールドワークのためにお泊りが来た
のただいとおりがとびました。
来週の、2日目には、それをホケルレークに別れて、
質問やったりその仕事などにたのしくいろいろと家、
まかいがあるの、そういうときにも、今日はお泊りな
事をしっかり使って、いい質問などもとんとんと、
いい物を作っていきたいです。

新聞の書き方だけではなく、インタビューの仕方を教えてもらった。

新聞の見出しはとても大切だし、それを見ただけで分かるようにしないといけないことが分かった。

インタビューでは、下調べを少しすると良い事が分かった。聞き上手にならないといけないけど、できないから、少し練習してみようと思った。自分の気になった事は聞いたなら良いことも分かった。

僕は、今日の学習を振り返って、インタビューの
コツについてよく分かった。僕は今までイン
タビューとは簡単なものだと思っていた。

しかし、インタビューは難しいものであり、準備
をしすぎたりなど自分が思っていたことと反
対なこともあった。今度、フィールドワークに
行くときは、今日学んだことをしっかり生か
して行きたい。

今日は、三好さんの話を聞いて一番印象に残ったのは、新聞記者
になる色んな有名人(中でも吉沢リョウヤ山崎けん)と会える
という事を知って私も新聞記者になるかな...と一瞬思っ
ました。でも、私は人の言葉をメモするのがすごく苦手なので
一瞬であきらめました。16日のフィールドワークでは人の言
をメモすることがたくさんあると思うので、今日学んだことを活
かして、インタビューができるように頑張りたいです。

三好さんの話を聞いて、情報に関する事を詳しく知りました
それから、新聞を書く前のインタビューをする時の注意点を教わり
ました。5W1Hを考えたインタビューをするのが大切だと分かりました。
ただ質問をするだけではなく共感した事を書くことも大切だと分
りました。

今日の話を、グループ別のフィールドワークで生かしたいと思います。

今日、彩木三好さんのお話で僕は新聞ができてまでこれほどいかよく
わかることができました。今までの新聞に興味がなくおもしろいことがわからな
かった。今日の話を聞いての仕方や写真のとりかたは色々なことを教えてもらい学ぶことが
できました。火曜日にはフルト7-7で話をきくので今日みんなのことをいかにがんばり
たいです。

今日は新聞のインタビューなど写真の撮り方について学びました。

三好政先生からは、僕達のまだ知らない事を色々教えてくださったので、とても自分のためになたし、しっかりと話を聞いていて楽しかったし、面白い事もたくさんあったので良かったです。

これからも、三好政さんの話を頭にしっかりと入れておきながら、これからの生活にいかしていきたいです。

三好さんの授業は、とても分かりやすく、楽しい授業でした。
特に、かたこしくなく、眠たくならないかたのかいよかったです。
また一月にきてくれるといいので、そのときもまた、いい授業
をしてくれるのかと思うと、とてもイモカインクが復持に
なりました。

新聞を書くには、「いつ」「どこで」「何を」「たれが」「なぜ」「どう思うか」という
ことをポイントとして書いて、なんでもかきつらぬくが、細かな所までよくわかって
るので、とてもよくわかったのが、たまたま。今朝まで、新聞は最後まで
あまり読むことがなくて、興味はなげき、たけれど、しっかりと今日 最後
まで読み通し、しみる、思、たまり おもしろい、たので、次からは最後
まで読んでいきたいと思います。

今日はあまり体験できないことをすることかできて良かったと思えました。新聞記者の方の話と書いて新聞ができるまでのこういそみせてもらって、かなりの時間がかかっていたんだと知ることかできました。またインタビューの仕方や書き方などとても大切なことを教えてもらって、勉強になりました。たくさん有名な方に会っていると書いてすごいな。と思いました。これからトライヤルとかあるしまたインタビューなどする機会があるかし知れないがしっかりときこうして、次につなげていけるようにしたいです。また次の機会も楽しみにしておきたいです。

新聞の書き方やインタビューの方法を教えるのを、正直教える前は「なんで話を聞かないといけないの？」と感じたんだけど、おもしろいし、楽しかったし、良い勉強になったから、教えるのをありがたと思いました。

裏はなしなど 楽しい話ばかりでした。

インタビュー体験など必要なことも学べました。

1月が楽しみです。

自分の新聞をもっと見直して良いものを見つけようと思ってる。

今日は三好さんの新聞のことについて、たくさん知るこゝかてよした。
また取材では、質問から入るのではなく、楽しい会話やコトをたずねて
したね。また会話をし、必要な質問をして、本題に入。た
方が良。三好がおっしゃ。たので、取材の時に有効に使えるように
していただきます。

ふとしたときにしか、新聞は見ないが、1つ1つの記事見出しも、
どのようにしたら、見やすいか、分かりやすいか、関心を向けられるかなど、
たくさん考えて、つくられたものだから、新聞は、つく夫人の宝物であり、
財産になるんだなと思った。今日は それの作り方などをきいて、
とても貴重な時間をもろえてよかったと思った。

私は三好先生の講演を聞き、実際に新聞記者を体験してみたりして、新聞をつくることはとても大変で大切な仕事だということ学びました。1つの新聞記事から人を勇気づけられたり、人権を守ったり、自分が、新聞記者の仕事のことをあまり知らなかったということもあったけど、新聞が伝える内容はさまざまな役割があることが分かりました。トライやるウィークでは、三好先生に教わったインタビューの仕方を意識して、インタビューするようになりたいです。

新聞記者である三好先生の構文はので、文字だけがスラッ！たんたん
と進むぞ！、^感感じはのかわかぬ〜。と思ひましたが、逆に新聞記事で
あるからこそ、編集がとてつらくて、ユーモアもあって楽しい講義でした。
内容も分かりやすく、資料とかも見やすく、A7ビュ-の1/2とか、写真の
と1/2とか「はるほど！」と思ふものが沢山ありまして、これからフィールド
ワークがあるので、こういう所に活かしたいと思ひます。

今日は、新聞の書き方やインタビューのしかたを学んで一番に思
たことは、自分が思っていたインタビューのしかたではなく初めから
思っていたことを質問するのではなく楽しい空気がふはれていく
のがわかりました。

記事には見出しがとても大切だとわがたしむずかしく言葉を
いれなくても自分の言葉を入れるのも大切だと思いました。

今日の三好さんの話を聞いてわがたことが多くできたと思
いました。

・2時間を通して、神戸新聞がどうやって作られ私たちの手にくるのかとその
仕組みがわかりました。その新聞について思ったのが、たった一日であんなに
たくさんの記事を書いていると思うと、次の日に開く合流点と想像していました。
そして作り手がいろいろあるんだなとわかりました。

今日は、新聞の書き方だけでなく、神戸新聞の書き方や
インクユ-方法、また、メモをとるうえでのポイント
など色々なことが知れた2時間でした。

今日学んだことを、ちゃんとファイルワーク、また
その先に生かしていきたいです。

今日の講義を聞いて、新聞を作る人はすごいなと思いました
なぜなら、新聞の文章を毎日考えているからです。

もし、自分が新聞の文を考えようと思ったら、数千文字を、
数日時間考えて、絶対無理だなと思いました。

今日の講義で学んだ、新聞の書き方などを、新聞
作りに生かしたいなと思いました。